

# 令和2年度 宮城県農業行政の概要

## 宮城県農政部の組織と県庁各課・地方機関の紹介

### 県庁各課室の主な業務と連絡先

課室名	主な業務	班名(内線) TEL022-211-(内線)で「ダイヤルイン」ができます
農政総務課 【県庁10階南側】	農業行政の総合的な調整、部の総務、組織・人事管理、予算管理、農業団体の検査・指導など	総務班(2883)、管理班(2885)、予算管理班(2886)、団体指導検査班(2754)
農業政策室 【県庁10階南側】	農業行政の総合的な企画、農業分野の震災復興の企画に関する事、災害対応など	復興推進・企画班(2892)
食産業振興課 【県庁10階北側】	農林水産物等の流通・販売の企画・調整、食に関する産業振興施策の企画・調整、農林水産物の食の安全に係る企画・調整、県産食品のブランド化、県産食品の販路拡大など	食産業企画班(2814)、食ビジネス支援班(2812)、ブランド推進班(2813)、県産品販売支援班(2815)、食品輸出支援班(2346)
農山漁村なりわい課 【県庁10階南側】	農山漁村の活性化・にぎわい創出に向けた企画・調整、中山間振興施策、農道の整備、農業集落排水、都市農村交流、農村の多面的機能の維持、6次産業化・農商工連携の促進、鳥獣被害防止対策など	農山漁村調整班(2657)、交流推進班(2866)、中山間振興班(2874)、6次産業化支援班(2242)
農業振興課 【県庁10階北側】	農業振興施策の企画・調整、農業経営基盤強化促進対策、農地の権利関係の調整、農業技術の改良普及、農業経営の改善普及、農業の後継者・担い手の育成、農業者への金融支援、経営構造対策事業、農地中間管理事業、先進的な農業経営体の育成など	調整班(2832)、先進的経営体支援班(2833)、農地調整班(2834)、経営構造対策班(2835)、農業人材育成班(2836)、普及支援班(2837)
みやぎ米推進課 【県庁10階北側】	みやぎ米や農産物(園芸作物を除く)の生産・流通、米の消費拡大・需給調整、経営所得安定対策、農業公害対策、環境保全型農業の推進、農業の安全・適正使用、肥料の品質保全など	農産支援班(2844)、生産販売班(2841)、水田農業班(2842)、環境対策班(2845)、環境保全班(2846)
園芸振興室 【県庁10階北側】	先進的園芸経営体の育成に関する企画・調整、園芸作物の生産及び流通など	園芸振興班(2843)、先進的園芸推進班(2723)
畜産課 【県庁11階南側】	畜産振興施策の企画・調整、畜産物の生産・流通・価格安定、飼料に関する事、畜産環境の整備・保全、家畜の改良増殖・防疫・衛生、獣医事及び動物用医薬品など	企画管理班(2851)、草地飼料班(2852)、生産振興班(2853)、衛生安全班(2854)
農村振興課 【県庁11階南側】	農村振興に係る企画調査・事業調整・計画、土地改良法の施行、農業・農村整備の調査・計画・設計・積算、農業水利の調査・調整、国営事業の調整など	指導班(2861)、企画調整班(2863)、地域計画班(2862)、技術管理班(2865)、広域水利調整班(2864)
農村整備課 【県庁11階南側】	農地整備、換地・交換分合、かんがい排水施設の整備・維持管理、農地防災・災害復旧など	事業経理班(2871)、換地・用地班(2872)、ほ場整備班(2873)、防災対策班(2466,2875)、水利施設保全班(2876)
農地復興推進室 【県庁11階南側】	被災農地等の復興(復興交付金に関する事業)に関する事	農地復興推進班(2703)

### 各地方機関の主な業務と連絡先

機関名	主な業務	連絡先
農業大学校	農業の専門的技術及び経営の実践的教育の実施、短期研修ほか	022-383-8138
農業改良普及センター	生産技術改善の普及指導、経営管理高度化の普及指導、地域の農業振興計画に係る支援、担い手の確保・育成ほか	大河原 0224-53-3519 巨理 0223-34-1141 仙台 022-275-8320 大崎 0229-91-0727 美里 0229-32-3115 栗原 0228-22-9404 登米 0220-22-8603 石巻 0225-95-1435 気仙沼 0226-25-8069
病害虫防除所	有害動物防除の企画及び指導 有害動物の発生予察	022-275-8960
家畜保健衛生所	家畜の改良増殖・防疫・衛生、草地開発整備、家畜伝染病の予防ほか	大河原 0224-53-3538 仙台 022-257-0921 北部 0229-91-0729 東部 0220-22-2349
王城寺原補償工事事務所	障害防止対策ほか	022-345-5175
地方振興事務所	地域産業行政の総合的な企画・調整ほか	大河原 0224-53-3111 仙台 022-275-9111 北部 0229-91-0701 東部 0225-95-1411 気仙沼 0226-24-2121
地域事務所	地域産業行政の総合的な企画・調整ほか	栗原 0228-22-2111 登米 0220-22-6111

表紙写真  
左 上：ドローンを使った稲の栽培管理  
中央下：自動走行トラクタによる麦の種まき

### 各試験研究機関の主な業務と連絡先

機関名	主な業務	連絡先
農業・園芸総合研究所	農業、園芸に関する試験研究ほか	022-383-8111
古川農業試験場	稲の新品種育成、稲・麦・大豆の栽培技術に関する試験研究ほか	0229-26-5100
畜産試験場	家畜、草地飼料、バイオテクノロジー等に関する試験研究ほか	0229-72-3101

## 県産酒と地元の食材で 乾杯しましょう!



県産酒による乾杯と、食材王国みやぎの豊かな食材の活用を推進します。  
(令和元年10月「食材王国みやぎの伊達な乾杯条例」施行)



このパンフレットに関するお問い合わせ、ご意見・ご要望は

**宮城県農政部 農業政策室**

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1

TEL 022-211-2892

Eメールアドレス noseise@pref.miyagi.lg.jp

※宮城県農政部のホームページにて、関係情報を発信しています。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/37.html>



【この印刷物は再生紙を使用しています】  
●このパンフレットは7000部作成し、1部当たりの印刷単価は16.50円です。



# 「若者があここがれ・集う 魅力ある農業・農村に」

～創造的な復興の完遂と次代に向けて～

**宮城県農政部**

このパンフレットは、令和2年度の宮城県農業行政の重点方針と組織体制を紹介するものです。

# 宮城県農業行政の重点方針

## I 現状と課題

東日本大震災後、経営面積が100haを超える大規模土地利用型農業法人や、高度な技術を導入した施設で、園芸作物を生産する法人が次々に誕生し、若者がいきいきと農業経営に取り組む事例が見られるなど、創造的な復興の成果が着実に現れてきました。

一方、輸入農産物との競争激化、急激な人口減少、集落機能の低下、鳥獣被害の深刻化など、本県の農業・農村を取り巻く環境は、一層厳しさを増しています。

本県農業の持続的発展を図るためには、東日本大震災からの復旧・復興の完遂とあわせて、令和元年東日本台風の被災からの早期の復旧を果たすとともに、新型コロナウイルスへの対応を適切に行うほか、競争力のある「儲かる農業」を実現するための取組と、農山漁村の持つ多面的機能の維持・発揮や都市と農山漁村の交流による「にぎわい創出」に向けた取組等を強化していくことが重要です。

## II 基本的な方向性

宮城県震災復興計画最終年となる令和2年度は、「創造的な復興」を完遂させ、「第2期みやぎ食と農の県民条例基本計画」（平成23年度～令和2年度）の総仕上げとなる重要な年となります。

これらのことを意識しながら、「若者があこがれ・集う 魅力ある農業・農村に～創造的な復興の完遂と次代に向けて～」をスローガンに、各種施策を推進します。

## III 重点施策

### 1 農業の創造的な復興の完遂と令和元年東日本台風による被害からの早期復旧

#### (1) 復旧・復興ロードマップに基づく生産基盤等の復旧

- ・東日本大震災で被災した農地・農業用施設等の復旧の完遂
- ・土地改良法の換地制度を活用した土地利用の整序化

#### (2) 農業経営の安定化と発展に向けた支援

- ・復旧した農地の生産に必要な資機材等の取得支援、畜産生産基盤の再構築、専門家による経営指導
- ・被災農業者の借入金の償還に係る支援

#### (3) 放射性物質検査による安全確保と風評の払拭等

- ・県産農畜産物の放射性物質検査の実施
- ・風評払拭に向けた取組の支援と安全性の情報発信

#### (4) 令和元年東日本台風による被害からの早期復旧

- ・被災した農地や農業用施設の早期復旧
- ・被災した農業者の営農再開の支援

### 2 消費者が求める安全・安心な食料の安定供給

#### (1) 農畜産物の安全確保の推進

- ・国際水準GAP（農業生産工程管理）の取組や認証取得を支援
- ・豚熱など家畜伝染病の防疫体制の整備・強化

#### (2) 消費者と農業者の相互理解の推進

- ・高校生地産地消お弁当コンテストの開催等による食育の推進
- ・「食材王国みやぎの伊達な乾杯条例」に基づく県産酒と県産食材の消費拡大

### 3 マーケットインによる競争力と個性のある農業の持続的な発展

#### (1) アグリビジネス経営体の育成と6次産業化の推進

- ・専門家派遣等による企業的経営感覚を有する経営者の育成
- ・農林水産物等の地域資源を活用した6次産業化の取組推進

#### (2) 活力ある多様な担い手の確保・育成

- ・競争力ある農業経営実現に向けた専門家チームによる伴走型支援
- ・青年農業者等の確保・育成に向けた就農促進サポート体制の強化



復旧・復興工事で整備された大区画ほ場（松島町）



家畜伝染病の発生に備えた防疫演習



県産食材を使った高校生地産地消お弁当コンテスト



自動走行コンバインによる稲の収穫



MONKEY MAJIKさんと一緒に稲刈りに挑戦

#### (3) 大区画・汎用化水田への基盤整備と農地の利用集積・集約化

- ・計画的な事業計画の調査・策定による生産基盤整備の推進
- ・農地の大区画化・汎用化、集積や面的な集約、高収益作物の導入等による競争力のある経営体の育成

#### (4) 「スマート農業」の推進と新たな技術の開発・普及

- ・最先端技術を活用した「スマート農業」の普及・拡大
- ・高収益作物の安定生産に向けた栽培技術の開発、牛の受精卵移植技術の活用などによる農畜産物の生産性向上と高品質化

#### (5) みやぎ米のブランド価値向上と水田フル活用の推進

- ・「だて正夢」などの「みやぎ米」の安定生産・プロモーション展開、業務用米の多収栽培技術実証
- ・「主要農作物種子条例」に基づく種子の安定生産・供給体制の整備

#### (6) 競争力と魅力ある先進的大規模園芸産地の育成

- ・収益性の向上、規模拡大、企業参入に向けた取組を支援
- ・高度環境制御技術の習得、機械化一貫体系の導入を支援

#### (7) 畜産の競争力強化と畜産物の安定供給

- ・畜産クラスター計画に基づく施設整備、能力の高い繁殖雌牛の導入支援
- ・産肉能力の高い優良種雄牛の造成

#### (8) 「食材王国みやぎ」による販売戦略の展開

- ・良質な県産食材の更なる認知度向上やブランド化
- ・市場ニーズを反映した付加価値の高い商品づくりを支援

#### (9) 県産農林水産物を活用した食産業の振興

- ・食品製造業者と農業者の連携強化
- ・海外でのプロモーション実施、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の開催時期に合わせた県産食材のPR

### 4 農業・農村の多面的な機能の発揮

#### (1) 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮と県民理解の向上

- ・多面的機能の維持・発揮に向けた地域の共同活動を支援
- ・地域や学校教育との連携・協働による農村環境保全活動を支援

#### (2) 都市と農山漁村の交流促進等によるにぎわいの創出

- ・農泊や農林漁業体験など、グリーン・ツーリズムの取組を支援
- ・世界農業遺産に認定された大崎地域の地域資源を次世代に継承

#### (3) 農業水利施設の保全機能強化・利活用の推進

- ・予防保全対策及び長寿命化対策などのストックマネジメント推進
- ・農業水利施設を活用した小水力発電施設の導入推進

#### (4) 環境にやさしい農業の推進

- ・環境保全型農業直接支払交付金の活用
- ・家畜排せつ物等の有機物資源の肥料化及び利用の促進

### 5 農村の活性化に向けた総合的な振興

#### (1) 中山間地域等における農村の活性化

- ・地域を支える多様な人材の育成・確保、地域資源を活用した多様ななりわい（ビジネス）の創出等を支援
- ・地域資源の保全管理や、これらを活用した交流活動を支援

#### (2) 野生鳥獣による農作物被害の軽減

- ・市町村等による侵入防止柵の設置や有害捕獲活動等を支援
- ・農業者等が中心となり取り組む鳥獣被害防止対策の推進

#### (3) 農業・農村における防災機能の充実と生活環境の整備

- ・早急に対策が必要な防災重点ため池等の安全性確保
- ・農業用施設の機能回復や施設更新などの防災・減災対策



ICTを用いて収穫量を増やすトマト栽培



むすび丸も出陣！  
県産いちご新品種「だてにこベリー」のPR



「いい日、ハレの日、仙台牛。」



子どもたちも興味津々！田んぼの生きもの調査



外国人旅行者もにっこり りんごの収穫体験



野生鳥獣による農作物被害を防ぐ！  
わなの設置方法を研修中



防災・減災に向けた「ため池」の整備